

## ケータイメールは自宅でするのがあたりまえ？

### ケータイメール実態調査 速報

ケータイメールをもっとも頻繁にするのは「自宅」がトップ（全体の38.2%）

このたび、株博報堂のバーチャル研究会、“ポケットeライフラボ”による「ケータイメールに関する使用実態調査」の速報値が出ましたので、ご紹介いたします。本調査は「ケータイメール」の使用実態、コミュニケーションツールとしての重要性を測るために10代～30代の男女516名を対象に、2001年9月に実施したものです。

いまや、メールといえば、「パソコンメール」ではなく「ケータイメール」を指すといわれるほど普及しているケータイメールですが、「ケータイメールは自宅でする」人が最も多いなど、「外出先でも簡単にメール」という当初の機能をとびこえ、ひとつのコミュニケーションツールとして活用されている実態が明らかになりました。

#### <調査結果 トピックス>

- 1日あたり平均のメール件数は受信8.3本、発信7.2本。男性のほうがメール好き！
- 女性の半数は家族とメール。
- ケータイメールをする場所、最も多いのは「自宅で」
- 良くするのは 「サンキューメール」、「遅れます」、「おめでとう」。
- やってみたいのは 「写真メール」、「メロディメール」、「メール中継」
- 男性30代だけは、「会社でメール・仕事でメール」。

#### <調査概要>

- 調査名：ケータイメール利用実態調査
  - 調査実施時期：2001年9月
  - 調査対象：全国のメール機能をもつ、ケータイ保有者 516サンプル
- |    |     |      |    |     |      |
|----|-----|------|----|-----|------|
| 男性 | 10代 | 34名  | 女性 | 10代 | 62名  |
|    | 20代 | 112名 |    | 20代 | 140名 |
|    | 30代 | 69名  |    | 30代 | 99名  |

ポケットeライフラボとは：[www.pocket-e-life.com](http://www.pocket-e-life.com)

いま世界で最もホットな業界であるケータイを、生活者の支店から調査研究していくことを目的に博報堂内で結成されたバーチャル組織。サイト会員もケータイ業界を中心に1200余名を超える。

#### <本件に関するお問い合わせ>

株博報堂

広報室

宮川・木下・寺島 tel 03-5446-6161

fax 03-5446-6166

e-mail: NAOKO.MIYAGAWA@hakuholdo.co.jp

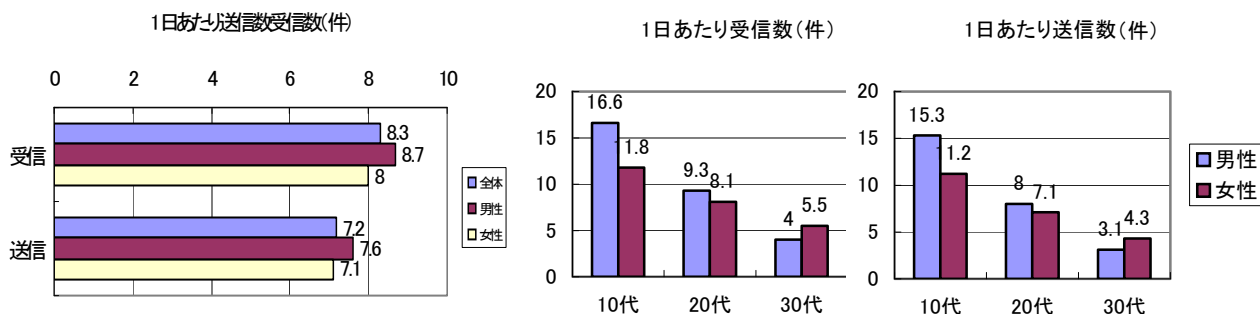
第4ストレンジックプランニング局

吉川 tel 03-5446-8565

<調査結果速報>

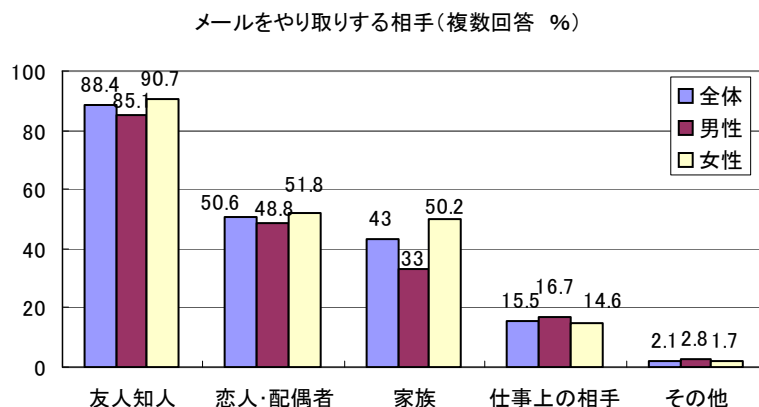
■1日あたりの平均受信メールは8.3本、送信メールは7.2本。男性のほうがメール好き。

1日あたりの平均受信メール数は8.3本、送信メールは7.2本で受信メールのほうが少し送信メールよりも多くなっています。また、男性のほうが女性よりも送受信メールともに多く、特に10代の男性のメールの多さが群を抜いています。



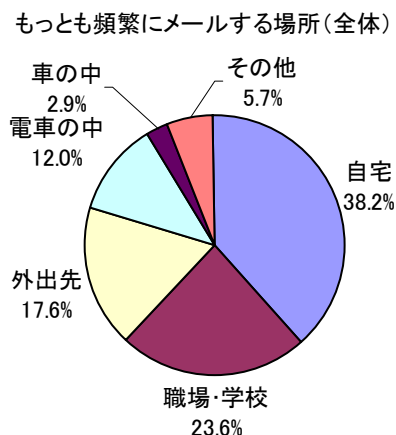
■メールの相手トップは男女ともに「友人・知人」(88.4%)。女性の約半数(50.2%)は「家族と」。

メールをやり取りする相手は、男女ともに「友人知人」(全体平均88.4%)でした。次に、恋人・配偶者(全体平均50.6%)、家族(全体平均43.0%)となっていますが、女性の場合は「家族と」やり取りする方が半数以上(50.2%)もあり、友人や恋人だけでなく、同じ家庭内の「家族」との重要なコミュニケーションツールにもなっていることがわかります。



■目の前に電話もパソコンもあるのに…ケータイメールを最も頻繁にするのはなんと「自宅から」(38.2%)。続いて「職場・学校」(23.6%)、「外出先」(17.6%)の順。

当初、ケータイメールは「外出先でもメールのやり取りができる」「話せないところでもメールで会話ができる」という点が利点でしたが、いまではパソコンや電話などが使用可能である「自宅から」(38.2%)、つづいて「学校・職場から」メールをする人が最も多くなっています。いまや、ケータイメールはパソコンメールとsも携帯通話とも違う、第3のコミュニケーションメディアともいべきものになっていると考えられます。



■よく送るメールは「ありがとうメール」「遅れますメール」「おめでとうメール」

ケータイメールの種類のうち、普段良くしているのは「ありがとうメール」(75.6%)、「遅れますメール」(74.4%)、「おめでとうメール」(66.7%)など、「ちょっとしたごあいさつ」や「ちょっとした連絡」と行ったものが多く、これまで「はがき」や「メモ」で行っていたことをケータイメールで・・・といった使われ方がされていることがわかります。ケータイメールの即時性と短い文章のやり取りに適するという性格がこのような使用につながっていると考えられます。

<普段良くするメールランキング>

1	ありがとう・サンキューメール	75.6%
2	遅れます・遅れそうメール	74.4%
3	おめでとうメール	66.7%
4	今どこ?メール(今あいてがどこにいるか尋ねるメール)	65.7%
5	お願い・たのメール(頼みごとをするメール)	65.3%
6	到着・今ついたメール(待ち合わせ場所に到着したことを伝える)	62.0%
7	お誘い・ご案内メール(友人・家族南尾での会合や遊びなどのお誘いをする)	59.9%
8	ごきげんいかがか・おひきメール(お久しぶりの挨拶)	56.0%
9	今日の出来事メール(今日、自分に起きた出来事を伝える)	52.7%
10	励ましメール(相手を励ますメール)	51.6%

■これからやってみたいメールは「写真メール」「メロディーメール」「実況中継メール」

一方で、これからやってみたいメールは「写真メール」(45.7%)、「メロディーメール」(39.1%)、「実況メール」(26.4%)の順となっており、特に上位2件は「使用シーン」よりも「新しい機能」への関心と考えられ、今後の携帯電話の必需機能として期待されているようです。

<これからやってみたいメール>

1	写真メール	45.7%
2	メロディーメール(音楽を添付するメール)	39.1%
3	メール中継・実況メール(スポーツ観戦などで状況を随時報告するメール)	26.4%
4	晩御飯ある?メール	26.2%
5	モーニングメール(モーニングコールのメール)	25.6%
6	成田・空港メール(空港について今帰ってきたことを伝えるメール)	25.6%
7	ギャグ・ネタ・オチ・だじゃれメール	25.4%
8	会議中メール(仕事の会議中に打ってメールを送ること)	25.0%
9	自分宛メモメール(自分のPCメール宛に備忘録的に送るメール)	24.6%
10	電話していい?メール(電話ができる状況かを問い合わせるメール)	24.4%

■30代男性だけは、仕事で使う人は4分の1以上(26.1%)、もっとも頻繁につかう場所も「学校・職場から」がトップ(31.9%)。まだ、プライベートツール化していません。

全体的な傾向としては、おもなメールの相手は「友人知人」や「恋人配偶者」「家族」といったプライベートな相手が主で、いまや、「プライベートコミュニケーションツール」として活躍しているケータイメールですが、30代男性の場合だけは、「友人知人」、「恋人配偶者」、「家族」とのやりとりがいずれも平均よりもかなり少なく、一方で「仕事の相手」が26.1%と4人に一人が仕事に使用。また、これに伴い、メールをする場所も、男性30代のみが最もメールをする場所を「職場・学校」がトップで31.9%、つづいて「外出先」が24.6%となり、「自宅から」が最も多い他の層とは明らかに異なった使用法がされており、「まだプライベート化していない層」といえそうです。

<メールする相手 年代別 MA %>

		友人知人	恋人・配偶者	家族	仕事の相手	その他
男性	10代	91.2	26.5	38.2	5.9	0
	20代	90.2	57.1	34.8	14.3	0.9
	30代	73.9	46.4	27.5	26.1	7.2
女性	10代	98.4	27.4	61.3	3.2	0
	20代	92.9	60	51.4	16.4	1.4
	30代	82.8	55.6	41.4	19.2	3

もっとも頻繁にメールする場所(男性30代)

